

感動をデザインします

TWINBIRD

pdf版

家庭用

コードレススチームアイロン

SA-4563 取扱説明書



このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。

RX0906F

もくじ

安全上のご注意	1・2
使用上の注意とお願い	3
繊維製品の取扱いとご使用の目安	3
きれいにアイロンをかけるには	4
各部の名称とはたらき	5~7
使いかた	7~12
お手入れ	12
こんなときは	13
アフターサービス	14
仕様	

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。

この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

- 1 お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。
- 2 お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件を一緒に付す必要があります。
- 3 お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。

このコンテンツはWeb上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

この資料並びにコンテンツに保証書は掲載しておりません。

この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものであります。

デザイン、仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- 表示の説明
- 警告** 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 - 注意** 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。
 - 図記号の説明
 - 禁止
 - 強制
 - 注意

警告

- 絶対分解・修理・改造は行わないでください。**
- 発火・感電・けがの原因になります。** 修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電やけがの原因になります。
- 電源プラグのホコリなどは定期的に拭き取ってください。** 電源プラグにホコリなどがたると、発火の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。**
- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。**
- やけど・感電・けがをする恐れがあります。**
- 定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。** その器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。** また、重い物をのせたり、踏み込んだりすると、電源コードが破損し、発火・感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。** 感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源プラグは根本まで確実に差し込んでください。** 感電・ショート・発火の原因になります。

注意

- 交流100V以外では使用しないでください。** 火災・感電の原因になります。
- 通電したまま放置しないでください。** けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
- 使用時以外は必ず温度調節ダイヤルを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。** 火災や事故の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。** 感電やショートして発火することがあります。
- アイロンを立てて置かないでください。** アイロンが倒れて、けがややけどの原因になります。使用しないときは必ずスタンドに戻してください。
- 製品を運ぶときは、製品が十分に冷えていることを確認してください。** けがや、やけどの原因になります。
- 引火性のもXガソリン、ベンジン、シンナーの近くで使用しないでください。** 感電や故障の原因になります。
- アイロンやスタンドに水がかからないでください。** 感電や故障の原因になります。
- 接続ピン・接点にごみを付着させたり、ピンや針金など金属類に触れないでください。** 火災・感電・ショートの原因になります。
- 接続ピン** スチームやショットスチームを顔や手、足にかけないでください。やけどの原因になります。
- 高温部** かけ面・スチーム・かけ面支持部などに触れないでください。
- かけ面支持部** やけどの原因になります。
- 人や身体および着用したままの衣類に、ショットスチームをかけないでください。** やけどの原因になります。
- 落としたりぶつけたりしないでください。** 感電・発火の原因になります。
- アイロンを傾けたり、前後に激しく動かさないでください。** やけど・水もれの原因になります。
- ショットボタンを連続して早く操作しないでください。** 少時間より早く操作すると、蒸気が出てやけどや衣類を汚す原因になります。

使用上の注意とお願い

アイロンがけの際、アイロン本体をアイロン台からはみださないようにしてください。スチームによるやけどの原因になります。ボタン・フック・ファスナーなど固いものに直接かけないでください。かけ面のフッ素樹脂加工を傷つけます。変形したり傷がつきます。スチームには水道の水をご使用ください。ミネラルウォーター・整水器の水やリネンウォーターなどの香料を含んだ水などは入れないでください。タンク破損や衣類を汚す原因になります。接点は磨かないでください。接触不良の原因になります。業務用や他の目的に使用しないでください。過負荷による故障の原因になります。

繊維製品の取扱いとご使用の目安

おかけになる布地に日本工業規格(JIS)で定められた絵表示がある場合、温度設定位置との関係は下表の通りです。

繊維製品の絵表示	低	中	高
繊維の種類	アクリル・アクリル系ポリウレタン ポリプロピレン ビニリデン	絹・毛・アイロン・ビニロン レーヨン(長繊維) キュプラ・アセテート ポリエステル・トリアセテート	綿・麻 レーヨン(短繊維) ポリリジック
温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度	約80-120	約140-160	約180-200
設定温度になるまでの時間	約40秒	約1分	約2分

衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。絵表示のない場合は、繊維名に従い温度を合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。使用上、アイロンを止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度でも布地を傷めることがありますので気をつけてください。熱に強い繊維(化繊・絹・毛など)にアイロンをかけるときは布をずらすか、目立たない部分にたがけてください。ビニロンに濡り気を与えてアイロンがけをしないでください。

きれいにアイロンをかけるには

ワイシャツ

パンツ

セーター

- カフス
- 肩
- 後ろ身ごろ
- 下前身ごろ・下前前立て
- 上前身ごろ
- 上前前立て
- エリ
- ひざのたるみを取る
- 結びわ・たるみを取る
- 全体仕上げ
- そで口
- ゴム締め部分

裏側から、ぬい目を引っ張りながら両側中央に向かって、エリのまわりにもってかける。軽くすべらせるように、ヨークの部分をエリを引っ張りながら、ポケットは下から上にすべらせる。

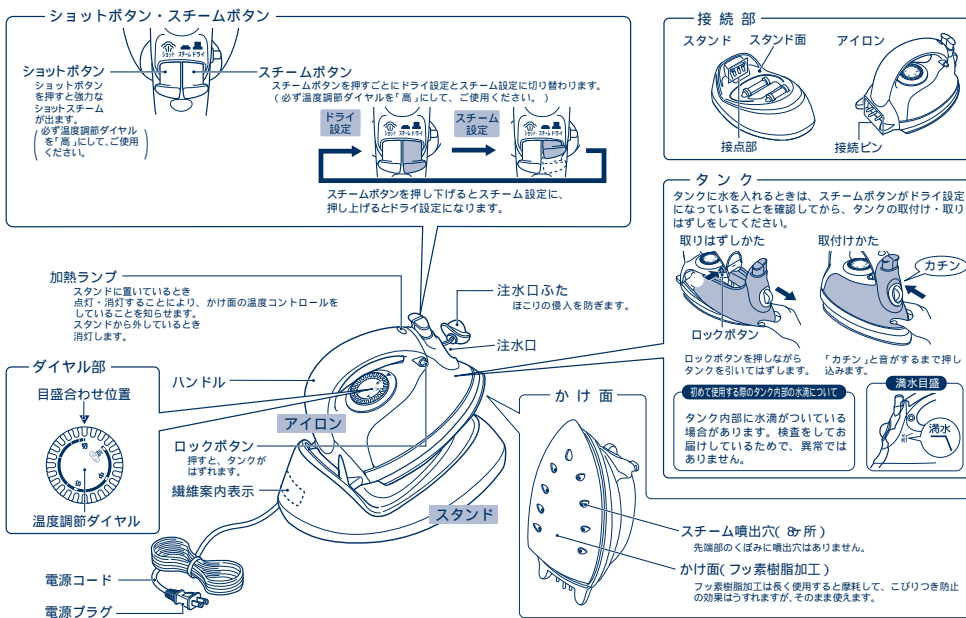
ヨークの部分はエリを引っ張りながら、ポケットは上下方向に引っ張りながら、ぬい目を引っ張りながら両側の中央に向かって、スプレーのりをかけたときはドライ設定で。

裏側からショットスチームをかける。

アイロンを少し浮かせてショットタテ方向に引っ張りながらショットスチームをかける。

手で握りて形を整えながら、たがりとショットスチームをかける。

各部の名称とはたらき



5

6

コードレスアイロンについて

給電について

アイロンをスタンドに置くときや衣類を蒸えているときは、必ずスタンドに戻してください。

アイロンをスタンドに戻すときは、逆方向や横方向に置かないでください。接点部が変形して通電しなくなります。

アイロンの接点部をスタンドの接点へ、まっすぐに合わせるまで戻す

アイロンをスタンドに戻したとき、スチームがはらなく出づけることがあります。アイロンをスタンドに戻したときに、加熱ランプが点灯した場合、消灯するまでお待ちください。

水もれ防止機能について

かけ面の温度が下がると水もれ防止弁が作動し、スチームが止まります。

お話し

作動するとき内部で「カチン」と音がしますが、異常ではありません。

お話し

使用中、内部で「カチ、カチ」音がある場合がありますが、自動温度調節器(サーモスタット)や水もれ防止弁が動作している音で異常ではありません。

アイロンを振ったときに「カタカタ」音がしますが、弁などが動く音で異常ではありません。

スチーム 特にショットスチーム 噴出時に白い粉が出る場合がありますが、水に含まれる縮粉類などが出るもので異常ではありません。白い粉が衣類に付いた場合は、取っていただくことができます。

アイロンをスタンドに「置く」または「はずすとき」にスタンドの接点部よりスパーク(火花)が発生することがありますが、異常ではありません。

洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンかけしてください。

使いかた

1. タンクに水を入れます。

(ドライアイロンとしてお使いになるときは、タンクに水を入れなくてもお使いいただけます。)

スチームボタンをドライ設定にし、タンクをはずします。(6ページをご覧ください。)

加水目盛まで上水道の水を入れます。

ミネラルウォーター・整水器の水やリネンウォーターなどの香料を含んだ水などは入れないでください。

タンクのまわりについていた水滴をふき取ります。注水口ふたをしっかりとか確実閉じてから、タンクをアイロンに取り付けます。(6ページをご覧ください。)

2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



3. 温度調節ダイヤルを回して、温度を設定します。

温度調節ダイヤルを使用したい温度に合わせて、加熱ランプが点灯します。
温度調節ダイヤルが「切」の場合は、加熱ランプは点灯しません。

ドライアイロンにするとき

繊維に適した温度に合わせる

衣類に絵表示があるときは、絵表示に従って合わせ、ないときはスタンド部の繊維案内表示を参考にしてください。

スチームアイロンにするとき

必ず「高」に合わせる

「高」以外に設定すると、スチームが弱すぎたり、出ないことがあります。

ショットスチームを使用するとき

必ず「高」に合わせる

「高」以外に設定すると、水もれしたり、ショットスチームが出ないことがあります。

お話し

初めて通電したとき、多少のにおいや煙が出ることがありますが、異常ではありません。ご使用にともない出なくなります。

小注意


温度調節ダイヤル「高」より低い温度に合せてスチームボタンやショットボタンを押すとスチームに水滴がまじります。

8

使いかた(つづき)

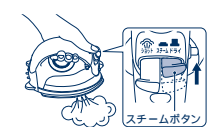
4.使用します。 加熱ランプが消灯すると使えます。
アイロンをスタンドからはずしたときは、加熱ランプは消えます。

ドライ




スチームボタンをドライ設定にします。
温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合は、加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してからご使用ください。

スチーム 麻・綿の布地に。毛製品をふっくら仕上げるときに。
アイロンを水平にし、スチーム設定にします。
使いはじめは、スチームが出るまで少し時間がかります。
設定温度「高」で連続してスチームアイロンがけができる時間は、使用条件により異なりますが約 10分程度です。スチームが止まったときは、アイロンをスタンドに戻して給電してください。「高」以外の繊維にスチームをかける場合は必ず浮かせてかけてください。



ショットスチーム がんばるシワを取ったり、毛製品をふっくら仕上げるときに。
アイロンを水平にし、約 2-5秒間隔でショットボタンを操作します。
△ショットボタンを 2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。かけ面を衣類からはなして(100%程度)、目立たない所のためしげをしてからお使いください。(特にカシミヤ等の起毛性衣類)
ショットボタンは、ドライ設定 / スチーム設定のどちらでもご使用できます。



お願い
ショットスチーム使用中にショットボタンを押すと「キュー・キュー」と音がする場合がありますが、異常ではありません。
ショットスチームの効力が弱くなってきたときは、アイロンをスタンドに戻して給電してください。

ショットスチームが出にくいとき

使いはじめ...ショットボタンを2-3回操作してください。
使用中...給電してください。
タンクの水が少なくなったとき...満水目盛まで水を入れてください。

△注意
かけ面の温度が上がらないうち(通電開始から約 1分以内)や、温度調節ダイヤルを、「高」より低い温度に設定したとき、またショットボタンを連続で押してスチームを出しますと、スチーム噴出穴から湯滴が出ますのでご注意ください。
アイロンを横や逆さまにしないでください。水もれしたり、熱湯でやけどすることがあります。
スチームアイロンとして使用するとアイロンやタンクの表面に水滴が付着することがあります。これはスチームが結露したものです。水滴が多いときはふき取ってください。


5.使用後は

1.電源を切ります。



温度調節ダイヤルを「切」にします。
電源プラグをコンセントから抜きます。


2.水を捨てます。



タンクに水が残っているときは、かけ面内部の腐食防止のため必ず水を捨ててください。
スチームボタンをドライ設定にしてタンクをはずします。(6ページをご覧ください。)
注水口ふたを開け、水を捨てます。

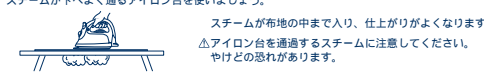
アイロンかけのコツ...洗たくものが乾いてからアイロンをかけましょう。

アイロンかけの持ちかた
片方の手でぬい目を引っ張ったり、布を押さえたりしながら両手を上手に使いましょう。
軽くすべらせる しっかり押さえる 軽く浮かせる

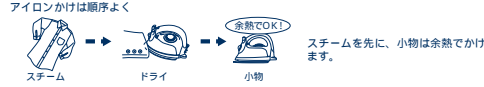


もどりジワを防ぐため一方向、ガンコなシワ、厚手の布地の折り目、毛足の長い繊維やにおいとりは軽くかけるのがコツです。つげなどは、しっかり押さえます。く浮かせてスチームをあてます。

ワンポイントアドバイス
スチームが下へよく通るアイロン台を使いましょう。
スチームが布地の中まで入り、仕上がりがよくなります。
△アイロン台を通過するスチームに注意してください。やけどの恐れがあります。



アイロンかけは順序よく
スチーム → ドライ → 小物



スチームを先に、小物は余熱でかけます。

低い温度のものから高い温度のものへ順番に布地に合った温度でかけます。
アイロンかけの前に衣類を分類しておけば能率的です。
高い温度から低い温度に設定すると、低い温度になるまで多数分かかる場合があります。

綿や麻などには蒸気吹きをしましょう
霧をかけてからドライ設定でアイロンをかけるときれいに仕上がります。

かけ面に衣類がからみつくときは
静電気が発生しますので、衣類の端まですべらせてからアイロンを持ち上げます。

スプレーのり等の仕上げ剤を使うときは
成分にシリコンが配合されたものをお使いください。
衣類にスプレーしてからひと呼吸おき、のりを衣類になじませてからかけると、アイロンがけやすく効果的です。
洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、必ずドライ設定でアイロンかけをします。

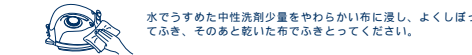
・少し風めに仕上げたいときは...
スプレーのり → アイロンかけ(ドライ) を繰り返します。
(一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびりつく原因になります。)

洗たくのり付けをした生乾きの衣類には
必ずドライ設定でアイロンかけをしてください。

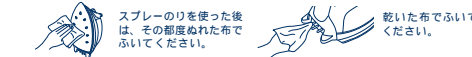
アップリケや接着芯などを接着するときには
必ず「あて布」をして、アイロンかけをしてください。
説明書が添付されているときは、それに従ってください。
かけ面にのり成分が付着した場合は、その都度お手入れをしてください。
(12ページをご覧ください。)
のりが付着したままお使いになると、かけ面にこびりついて、とれにくくなります。
また、そのままぬれた布にアイロンかけをすると、色移りする場合があります。

お手入れ... 電源プラグをコンセントから抜き、製品が冷めてから

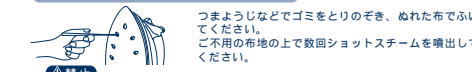
アイロンやスタンドの汚れ
水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸し、よくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとってください。



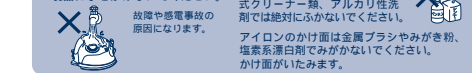
かけ面の汚れ **接続芯の汚れ**
スプレーのりを使った後は、その都度ぬれた布でふいてください。
乾いた布でふいてください。



スチーム噴出穴のつまり
つまようじなどでゴミをとりぬき、ぬれた布でふいてください。
ご不用の布地の上で数回ショットスチームを噴出してください。



△禁1
製品に水をかけないでください。
故障や感電事故の原因になります。
シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類、アルカリ性洗剤では絶対にふかないでください。
アイロンのかけ面は金属ブラシやみがき粉、塩素系漂白剤でみがかないでください。かけ面がいたみます。



こんなときは

こんなときは？	調 べ る と ころ	処 置
熱くならない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	布地に合った温度に設定していますか？	設定温度を適温に合わせてください。
	アイロンがスタンドに正しく置かれていますか？	アイロンをスタンドへ正しくセットしてください。
	接続ピンの先端部にホコリなどがついていませんか？	ホコリを乾いた布でふき取ってください。
スチーム・ショットスチームが出ない少ない	タンクはアイロンに確実に取付けてありますか？	タンクを確実に取付けてください。
	タンク内にゴミが入っていませんか？	ゴミを取り除き、きれいな上水道水を使用してください。
	ショットボタンを2~3回押しても出ませんか？	ショットボタンを2~3回操作してください。
	スチームボタンはスチーム設定になっていますか？	スチームボタンをスチーム設定にしてください。
	温度調節ダイヤルは「高」に設定してありますか？	温度調節ダイヤルを「高」に合わせてください。
	スチーム噴出穴にゴミや水あかがつまっていますか？	つまようじなどで噴出穴のつまりを取り除いてください。
水もれ・湯滴	低い温度でショットボタンを押していませんか？	温度調節ダイヤルを「高」に合わせてください。
	通電直後に使用していませんか？	加熱ランプが点灯しているときは、消えるまで待ってください。
	ショットボタンを1秒間隔より早く操作していませんか？	ショットスチーム使用時はショットボタンを2~5秒間隔で押してください。
布地が焦げる	布地に合った温度に設定していますか？	温度設定を適温に合わせてください。
	目盛を「高」から「低」に変えたとき、加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用していますか？	加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。
	「高」以外の繊維にスチームアイロンをかけるとき、あて布をしていますか？	あて布をしてください。

アフターサービス

1.保証書

裏表紙に添付しています。
保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から 1年間です。
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3.修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。
保証期間がすぎている修理
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4.補修用性能部品の最低保有期間

このコードレススチームアイロンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後 5年です。
性能部品とはその商品の機能を維持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

修理部品について
修理部品は、部品共通化のため、一部仕様や外観色などを変更する場合があります。

お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120-337-455

FAX (0256) 93-1077


お電話承り時間: 平日(月曜~金曜) 午前時~午後時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	1200W
電 源 コ ー ド (約)	1.6m
注 水 量 (約)	85m
かけ面の面積 (約)	130cm ²
蒸 気 発 生 方 式	滴下式
アイロン寸法 (約)	長さ 200x 幅 105x 高さ 135mm
スタンドセット寸法 (約)	長さ 225x 幅 125x 高さ 190mm

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

長年ご使用のコードレススチームアイロンの点検を！		
 愛情点検	ご使用の際このようなことはありませんか。 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。 電源コードが傷ついたり、電源コードを動かすと通電しなかったりする。 こげくさい臭いがする。 かけ面や取っ手が熱い。 その他の異常・故障がある。	ご使用中 止
		故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。